

報告「BSE 熟議場 in 帯広」

7月7日（土）午前10時10分から午後5時半まで、RIRiCは帯広畜産大学を会場に、帯広畜産大学と北海道大学大学院農学研究院の協賛の下、「BSE 熟議場 in 帯広」を開催しました。これは、2010年1月～2011年12月の間に帯広市で8回実施したBSE問題を考える「振り向けば、未来」での経験を踏まえた、話し合う場を非公開から公開に転じた最初の場です。また、2010年12月11日に北海道大学（札幌）で開催した、「第1回 BSE 熟議場 in 北大」の場作りを下敷きにしています。総合ファシリテーター役は吉田省子が、サブ・ファシリテーター役は大原真紀と平川全機が担当し、栃内新（北海道大学理学研究院）がUstream中継とツイッターに関する仕切り役になりました。

午前の部「聞いて問う」では、DVD「BSE 全頭検査をどうするか（※1）」を視聴してから、3人の専門家（※2）の話を聴き（70分）、門平睦代先生（帯広畜産大学：プリオン専門調査会委員）と堀内基広先生（北海道大学獣医学研究院：プリオン専門調査会委員）が加わった上で会場からの質問に答えてもらいました（50分）。また、ツイッター上の議論は仕切り役が整理し、代表質問しました。なお、午前中の会場とツイッター参加者を合わせた総数は100名を超えました。

※1 2011年11月3日「みんなで話そう、食の安全・安心」で使用されたDVDで（11分）、主催者団体の「BSE問題に関する討論型世論調査実行委員会」が作成したものを借用した。

※2 3人の専門家と話のタイトル

①平川秀幸先生（大阪大学コミュニケーションデザインセンター）

「日本のBSE対策を振り返る～「BSE 清浄国」化を前に」

②森千恵子先生（十勝総合振興局帯広食肉衛生検査所所長）

「北海道におけるBSE対策の現状(1)～とちく場と食肉検査における対策」

③西英機先生（十勝総合振興局十勝家畜保健衛生所所長）

「北海道におけるBSE対策の現状(2)～家畜保健衛生所のイメージ」

午後の部「話し合う」では、討論参加者が疑問点を出し、再度専門家に質問し回答をもらった上で、設問（※3）に関する議論をしました。具体的には、討論者に、RIRiCが用意した3つのシナリオ（※4）を検討してもらい、そのどれかを選択してもらうというものでした。なお、討論への参加希望者は4名と少なかったのですが、「振り向けば、未来」参加者と帯広畜産大学学生を含み、BSE問題に関し一定の知識を持っていました。会場とツイッター参加者を合わせた総数は100名を超えました。

※3 RIRiCが用意した設問 『もしも、2013年1月14日になっても「2002年1月13日以降に生まれた牛の中からBSE陽性牛が出てこない」ならば、日本はBSE清浄国になることができるかもしれません。そのとき、いま行われているBSE規制について、私たちはいったいどのように考えたら良いのでしょうか』

※4 シナリオ 【前提】 飼料規制を継続する

【選択肢】

1. 全頭検査体制を継続し、SRM(特定危険部位)の除去も全月齢で行う。
2. 全頭検査体制を見直して、20ヶ月齢以下での検査をやめるが、SRM除去は全月齢で行う。
3. 全頭検査体制を見直して、20ヶ月齢以下での検査をやめ、

かつ、20ヶ月齢以下でのSRM除去もやめる。

シナリオ選択に関する討論は白熱し、最初から「選択肢の物足りなさ」を指摘され、第4番目あるいは2.5番目という言い方で、議論されていきました。専門家に問いを発しながら、最終的に討論者が合意した今後の選択は、以下のようになりました。

<<設問に対する討論者の回答>>

飼料規制は今後も継続する。

SRM 除去は全月齢で行う。

食肉の全頭検査は、全国一律で廃止を含めて見直す。

死亡牛検査 現行の24ヶ月を引き上げて実施する。

最後に、午後の最初の討論で出された「再度専門家に聞く」コーナーでの質問項目を紹介します。
(専門家のみなさんが協議し回答する分担を決めました)

- ・ 非定型 BSE の定義は？ (感染性の有無？ バンドの違い?) → 堀内氏
- ・ 発症しないか。プリオンを持っている個体を食べたらどうなる? → 堀内氏
- ・ 孤発性 BSE があっても「清浄国」となる基準はどうか? → 堀内氏
- ・ BSE や TSE が発生した場合、それに感染性があるかどうか検査でわかるのか? → 堀内氏
- ・ これからも全頭検査を行うのか? → 森氏
- ・ どこで BSE 教育を行うのか? → 西氏
- ・ 検査対象や SRM の除去は月齢の問題なのか? → 堀内氏
- ・ 日本が清浄国となったら、国産牛とオージービーフは同じステージになるのか? → 西氏と平川氏
- ・ 日本と海外の検査体制は違うのか (だとしたら何を基準に選べばいいの?) → 堀内氏
- ・ プリオンは接触感染するのか。経口感染だけなのか? → 堀内氏
- ・ 飼料規制の抜け駆けができない仕組みとは? → 堀内氏
- ・ 清浄国になったことの意味を消費者にどう伝えるのか → 平川氏
- ・ 「食の安全・安心」
科学的→心理的にどう理解を深め納得できるようにするのか → 平川氏
- ・ イギリスで発症してから肉骨粉をやめるまでの時間は?なぜこんなにかかったのか → 堀内氏



専門家が質問に答える
(午前の部)



午後一番に疑問をまとめる
(「再度問う」を検討中)



最終場面では専門家が
討論者の近くに集まりました